

# ホテル古湧園 遥



贈呈理由

ホテルにおいて環境を配慮した蓄熱システムなどの採用により、省エネルギーを実現



ホテル古湧園 遥

## 聖徳太子ゆかりの日本最古の温泉郷

道後温泉は日本最古の温泉として、国内はもとより海外からも訪れる多くの人々を魅了している。

その昔、脛(すね)に傷を負って苦しんでいた一羽の白鷺が岩間から噴出する温泉を見つけ、毎日飛んできてその中に脛を浸していたところ、傷は完全に癒え、白鷺は元気に飛び去ったと言われている。以来、全国の人々がその靈験を知り、訪れるようになった。

飛鳥時代には、聖徳太子が道後を訪ねて入浴した際、明媚な風光と良質の温泉に深く感動したと伝えられる。当時は椿が美しく生い茂り、靈妙な温泉が平等に恩沢をほどこす様はまるで寿国(理想の国)のようだと讃えたとされる。

明治時代、道後村の村長だった伊佐庭如矢は、当時老朽化していた道後温泉本館の改築に取り組み、「100年の後までも、他所が真似できないようなものを作ってこそ、はじめてそれが物

を言うことになる」と願い、道後温泉本館改築の偉業を成し遂げた。

## 愛媛県内で初めてZEBの認証を取得した建物

ホテル古湧園 遥(こわくえん はるか)は、道後のまちなみや道後温泉本館、松山城、西日本最高峰・日本百名山の石鎚山を一望でき、風光明媚な夜景も楽しめるホテルとして、2019年10月にオープンした。このホテルは、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した建築物「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)」\*基準を愛媛県内で初めて認証取得した建物である。

設備面では、燃焼機器を使用せずグリーンエネルギーを主なエネルギー源とし、温室効果ガス排出の削減とランニングコストを低減するため、空調には空冷ヒートポンプエアコン、給湯には太陽熱温水器と環境にやさしい業務用エコキュートをセットにしたハイブリッド給湯を採用した。また、展望大浴



空冷ヒートポンプチャラー

場の温泉加温用に高効率空冷ヒートポンプチャラーを設置し、温室効果ガス排出の大幅な削減に努めた。さらに厨房には、宿泊客に安心・安全かつ調理員にも衛生的で快適な作業環境を実現するため主に電化厨房を採用した。

最適な運転による省エネルギー・省コストに配慮した「人と環境にやさしいホテル」の実現と「おもてなし」の心を通して、今後の道後温泉の魅力を発信しつづけることで観光・経済発展に寄与していく。



業務用エコキュート

### ホテル古湧園 遥

所在地:愛媛県松山市道後鷺谷1-1  
 建築設計:榊井上輝美建築事務所+都市開発研究所  
 ZEBプランナー: 榊オフィス省エネプラン  
 建築施工:大林・二神特定建設工事共同企業体  
 設備設計:日本電設工業(株)  
 設備施工:日本電設工業(株)  
 延床面積:6,429㎡  
 竣工:2019年新設

#### ■設備概要

業務用エコキュート15kW×5台  
 [日立グローバルライフソリューションズ]  
 貯湯槽5.6㎡、  
 15kW×6台[昭和鉄工]貯湯槽10㎡  
 業務用ヒートポンプ給湯機118kW×2台  
 [日立グローバルライフソリューションズ]  
 貯湯槽10㎡  
 電気温水器30L×1台[日本イトミック]  
 貯湯槽0.03㎡

\*ZEB Ready(ゼブレディ):年間の一次エネルギーを61%削減できる設計で、認証を受けている。



ヒートポンプ給湯